

長岡市東山地域の自然、歴史、文化をエコウォークで楽しむ

吉盛一郎ゼミナール

1 0 M 0 7 6	渡邊 孝志
1 1 M 0 0 2	池田 隆祥
1 1 M 0 1 6	小田 勇太
1 1 M 0 3 2	謝 吉喆
1 1 M 0 4 1	長橋 賢和
1 1 M 0 4 3	Baavlai Badralmaa
1 1 M 0 6 2	涌井 要
1 2 M 0 1 7	須田 一聖

目次

1. はじめに (涌井 要)
 2. 東山地域について (涌井 要) (謝 吉喆)
 3. 自然について (池田 隆祥) (渡邊 孝志)
 4. 歴史について (小田 勇太) (バッドラルマ)
 5. 文化について (長橋 賢和) (須田 一聖)
 6. むすび (バッドラルマ)
- 資料 (池田 隆祥 長橋 賢和 須田一聖)
参考文献 (謝 吉喆)

長岡市東山地域の自然、歴史、文化をエコウォークで楽しむ

1. はじめに

本年度のゼミ活動は、①長岡市の東山地域の活性化に向けた取組みに参加すること（東山つうしん編集会議）、②東山地域の自然・歴史・文化を学習すること、③東山ファミリーランド地区と悠久山公園地区のエコ・健康マップを作成すること、④地域の各団体の行事に参加すること、⑤東山地区の活性化に向けてのアンケート調査と分析からの提案、⑥第5回全国エコツーリズム学生シンポジウムに参加して、エコツーリズム大賞に応募することである。

さて、本報告書では、東山地域の自然・歴史・文化について先行研究書からの学習と、地域の諸行事に参加したこと、そしてその内容を全国エコツーリズム学生シンポジウムで発表したことを順に述べていくことにする。

先行研究書には、長岡市科学博物館編「ガイドブック東山ー自然と歴史ー」、長岡市教育委員会編「郷土長岡を語る『長岡学』」、長岡青年会議所悠久山調査委員会編「悠久山ー自然と文明の記録」と長岡市立坂之上小学校編「わたしたちの悠久山」などがある。

2. 東山地域について

2.1 地域概要

長岡市は新潟県のほぼ中央部に位置し、中越地方の中核都市として発展している。平成17年4月に中之島町、越路町、三島町、山古志村、小国町と、平成18年1月に和島村、寺泊町、栃尾市、与板町と合併し現在の長岡市となった。

「市の中央部を信濃川が縦断し、両岸には沖積平野が広がる。また東部には東山連峰が、西部には西山丘陵地が連なっている。さらに日本海側には約16kmの海岸線を有する。山岳、丘陵、平野、海岸に至る変化に富んだ地勢を持つのが市の特徴である。」

2.2 自然環境

2.2.1 気象

長岡市は、夏は高温多湿で、冬は季節風が強く、降雪のある日本海側特有の気候である。平野部や海岸、山沿い等の地勢の多様性により、降雨・積雪量、気温等で地域差が見られる。山古志地域、小国地域、栃尾地域等の山間部は県内でも有数の豪雪地帯である一方、和島地域、寺泊地域等の日本海沿岸部や平野部では比較的積雪は少ない。

2.2.2 地形・地質

長岡市は新潟県のほぼ中央にあり、新潟平野の南端に位置する。市域のほぼ中央を流れる信濃川を挟んで沖積平野が広がり、その東西には東山連峰と西山丘陵地がそれぞれ連なっている。市の東部にあたる山古志地域や栃尾地域の一部は、山間地の急傾斜地帯を形成し、栃尾地域の南東方面には越後山脈の守門岳がそびえている。

2.2.3 東山地域

主に寒い地方に生活の本拠をおく植物が生育し、チシマザサーブナクラスと呼ばれる植生に覆われている。また小面積ながら、この地域の原植生であるブナ林が鋸山や鷲巣町付近、栃尾地域

東部に見られる。長年に渡り人手が加わり、ブナ林伐採後に代償植生として成立した雑木林・スギ林・アカマツ林も多く見られる。釜沢には湿性植物群落（ミズバショウ群落）も分布する。

鋸山周辺ではスギを主として、ヒメアオキ、ユキツバキ、ハイイヌガヤ等の常緑低木の他、下草にはキクザキイチリンソウ、フタリシズカ、スマレサイシン等が生育する。沢筋の岸壁にはタヌキラン、オオバギボウシ、ダイモンジソウ等の好湿性の草本が繁茂している。東部ではブナ、ミズナラ、コナラ、ヤマモミジ、ヤマウルシ、タニウツギ等の落葉低木が混交林をつくっている。「東山・八方台周辺の植物」（昭和 42 年）では 640 種、「東山・鋸山周辺の植物」（昭和 50 年）では 448 種の植物が確認されている。「栃尾の植物」（栃尾市教育委員会、昭和 59 年）には旧栃尾市内の自生植物として 1,340 種が記載されている。」

2.2.4 山古志地域

長岡市南東部に位置する山古志地域は、周囲を東山連峰に囲まれた中山間地域にあり、山あいの緩傾斜地や幹線道路沿いに集落が点在している。

「本地域は、平成 16 年 10 月「新潟県中越地震」が発生し、地域を結ぶ全ての道路が寸断され、さらに地盤の崩壊や土砂崩れによって、地域全域にわたり壊滅的な被害を受けました。その後、国や新潟県をはじめ、全国の自治体の協力により、平成 19 年 4 月には全域の避難指示が解除され、甚大な被害からの復旧を成し遂げた。」

「地域の中央部には、県道柏崎高浜堀之内線が南北に縦断し、東西には国道 291 号や 352 号が配置され、地域住民の日常生活や産業振興を支える重要な路線となっている。」

種芋原地区や虫亀地区などでは、東山連峰の傾斜地に棚田や棚池があり、稲作や日本有数の錦鯉の養鯉業などが行われている。

地域資源としては、特産品の米、かぐらなんばんなどの農作物をはじめ、棚田や棚池の風景、千年の歴史を有する国指定重要無形民俗文化財の「牛の角突き」、手掘りの道路トンネルとして日本最長の「中山隧道」などがある。

「山古志地域には、棚田や棚池などの自然資源、無形民俗文化財の牛の角突き、山あいの農地から生産される特色ある農産物など、さまざまな地域資源があり、これらを活かした地域づくりが既に始まっている。今後とも、これらを活かして、都市と農村との広域的な交流・連携を強化し、さらなる創造的な復興につなげていく必要がある。」

「山古志地域では、年々人口が減少してきており、とりわけ若年層の人口流出が顕著です。地域における雇用や交流の場を創出し、定住人口の確保につなげるため、都市整備の面からも地域産業等の活性化を支援する必要がある。」

「今後の高齢社会を見据え、身近な商業・生活サービス機能を維持・確保していく必要がある。また、集落には人口減少などに伴って、空き地や空き家が発生している。」

県道柏崎高浜堀之内線などの幹線道路や幅員の狭い生活道路では、交通安全施設の設置や除雪体制の維持が必要である。」

「山古志地域内はもとより、川東南部に接続するコミュニティバス（NPO 法人により運営されている「クローバーバス」）は、自動車を運転しない住民の日常生活を支える重要な交通手段となっている。今後とも、効率的なバス運行を図るため、さらなる検討が必要である。」

「山古志地域は、県内有数の豪雪地帯であり、冬期間においても、安全に安心して暮らせる地域

づくりが必要である。」

「朝日川では、急流が川底を削っており、護岸など河川構造物の改築が必要となっている。芋川、太田川、朝日川水系における山あいの傾斜地では、土砂災害防止に向けた取組みが必要である。」

2.2.5 地域づくりの方針

①地域振興に向けた基盤整備

「牛の角突きが開催される「山古志闘牛場」、社団法人土木学会の歴史的建造物として選定された「中山隧道」、日本一のさいの神が行われる「四季の里 古志」など、既存の観光施設については、さらなる活用を図るため、案内標識などの設置を進める。また、新潟県内はもとより、関東方面などとの広域的な交流・連携を促進するため、都市基盤の面からも地域振興を支援する。」

「新潟県中越地震」の被災からの記録を次世代に引継ぐため、震災メモリアルなどに関する整備を引き続き検討する。錦鯉やかぐらなんぼんなど地場製品の販売や観光情報の提供など、住民が主体となって取り組む地域づくりについては、都市整備の面からも支援を行う。

②地域産業の活性化と土地利用の誘導

「広域観光に加えて、山の暮らし大学校育成事業などの農山村滞在型・体験型交流事業を促進し、都市と農村の交流をさらに深めるとともに、定住人口の確保につなげるため、空き地や空き家の有効活用などの仕組みづくりを検討する。」

「買い物の場など、日常生活において必要な機能を身近な範囲内に確保し、高齢社会に対応した地域づくりを推進するため、土地利用の面からも支援を行う。」

③幹線道路及び生活道路の整備

山古志地域と周辺地域の連携を図るため、川東南部につながる国道 352 号の萱峠トンネル・奥ノ院トンネルなどの整備を促進する。通学路や身近な生活道路では、交通安全施設の設置を進める。

③公共交通ネットワークの維持・充実

「コミュニティバスと接続する既存の JR 長岡駅方面行きの路線バスは、その運行を維持する。既存のコミュニティバスについては、継続的な運行に向けて、利用者のニーズに即したバス運行への見直しを図るとともに、地域住民などが主体となったバス運行を支援する。」

④自然環境の維持・保全

東山連峰の緑豊かな山なみや、傾斜地を活かした棚田・棚池などは、地域の誇りとなる貴重な自然資源である。また、山林や棚田は、治山・治水など防災機能も有していることから、地域住民との協働により、荒廃した山林や耕作放棄地の解消に向けて取り組むとともに、今後とも、このような自然環境を適切に維持・保全する。

「山古志地域の景観は、豊かな自然と人の営みとの調和によって生まれた「日本の原風景」ともいえるべき美しく貴重な財産です。今後とも、来訪者を魅了する自然景観について、「山古志地域デザインガイドライン」を活用しながら適切に維持・保全するとともに、山古志らしい景観を活かした視点場の整備を検討する。」

2.2.6 栃尾地域

長岡市東部に位置する栃尾地域は、四方を守門岳と東山山系に囲まれ、守門岳を水源とする刈谷田川と西谷川の合流地点に市街地が広がり、山あいには農村集落が点在している。

この地域には、国道 290 号が南北に縦断しているほか、東西に国道 351 号が配置され、地域住民の日常生活や産業振興を支える重要な路線となっている。

刈谷田川と西谷川の合流地点の市街地には、地域の基幹産業である繊維関連の企業が立地しているほか、栃尾地域の中心となる本町、谷内、滝の下町地区には商店街が形成されている。昭和 40 年代には新栄町、原町地区において、また、平成 8 年から泉、平地区において、土地区画整理事業が行われ新たな市街地が形成された。

地域資源としては、「あぶらげ」、酒などの特産品があり、上杉謙信公ゆかりの史跡、雪国の生活を感じさせる「雁木の街なみ」などがある。加えて、国道 290 号沿いの道の駅、美術館、「道院高原」などの観光施設も数多くある。

「栃尾地域の中心部では、上杉謙信公ゆかりの史跡や日本有数の長さを誇る「雁木の街なみ」が保全され、地域資源を活かしたまちづくりが既に始まっている。今後とも、市民との協働による地域づくりをさらに進めていく必要がある。」

「栃尾地域では、平成 11 年の「道の駅 R290 とちお」のオープンを契機として、観光客数が増加傾向にある。今後、さらなる観光振興を図るため、道の駅、「杜々の森」、「道院高原」など既存の観光施設の活用を図るとともに、他地域との広域的な交流・連携が必要である。」

「栃尾地域では、年々人口が減少してきており、とりわけ若年層の人口流出が顕著です。地域における雇用の場を創出し、定住人口の確保につなげるため、都市整備の面からも地域産業の活性化を支援する必要がある。」

「栃尾地域と長岡地域や隣接する市町村を結ぶ国・県道は、住民の通勤・通学などの日常生活はもとより、広域観光を支える重要な路線であることから、道路の拡幅や歩道整備など、さらなる道路機能の強化が必要である。」

「幅員の狭い生活道路では、歩行者の安全性を確保する交通安全施設の設置が必要である。路線バスは、栃尾地域における唯一の公共交通であり、通勤・通学はもとより日常生活を支える重要な移動手段であることから、今後とも維持・充実を図る必要がある。」

「栃尾地域は、県内有数の豪雪地帯であり、冬期間においても、安全に安心して暮らせる地域づくりが必要である。西谷川左岸の大野町、表町、大町周辺の市街地においては、急傾斜地に住宅が密集していることから、土砂災害防止に向けた取組みが必要である。」

2.2.7 地域づくりの方針

①謙信の里にふさわしいまちづくり

栃尾地域の中心市街地周辺では、謙信の里にふさわしい地域づくりを推進するため、今後とも、市民との協働により「秋葉公園」や「中央公園」、「栃尾美術館」、雁木の街なみなどを活用した環境整備に取り組む。あわせて、「道の駅 R290 とちお」との連携強化により、中心部における整備効果を一層高める。

②観光振興に向けた基盤整備

「道の駅 R290 とちお」、「杜々の森」、「道院高原」などの既存の観光施設については、さらなる活用を図るとともに、他地域との広域的な連携による観光振興を促進するため、案内標識などの基盤整備を進める。

③地域産業の活性化に向けた土地利用の誘導

「豊富な資源や長年培われてきた高い技術力を活かして、新たな産業の導入を図るため、企業立地の需要に応じた土地利用の誘導とともに、立地環境の向上を図る基盤整備を検討する。」

「とりわけ、工場集積地内の大規模な工場跡地において、新たな土地利用ニーズが発生した場合は、既に立地している工場の操業環境や周辺の市街地環境に影響を及ぼさないものに限り、適切な土地利用転換を検討する。」

「市街地や農村集落では、日常生活において身近な範囲内に買い物の場を確保し、高齢社会に対応した地域づくりを推進するため、土地利用の面からも適切な支援を行う。既に開発された住宅用地の分譲を促進するとともに、既成市街地をしっかりと活用していくため、空き家や空き店舗の有効活用などの仕組みづくりを検討する。」

④幹線道路及び生活道路の整備

栃尾地域と周辺地域を結ぶ、国道 290・351 号などの幹線道路については、さらなる道路機能の強化に向けて、道路拡幅等を促進する。

通学路や身近な生活道路では、交通安全施設を設置するとともに、歩道の整備を推進する。

⑤公共交通ネットワークの維持・充実

「栃尾地域と JR 長岡駅を結ぶバス路線は、その運行を維持するとともに、バス停の上屋整備など、バス交通の利用環境の向上を図る。また、地域内を運行する路線バスは、利用状況に応じた運行頻度や運行時間の見直しを行い、その運行を維持するとともに、バス利用者の少ない路線については、地域が主体となった公共交通の検討や運営を支援する。」

⑥自然環境の維持・保全

守門岳や東山山系の豊かな自然と、そこで育まれた豊富で良質な水は、地域の誇りとなる貴重な自然資源である。今後とも、このような自然資源を積極的にまちづくりに活かしていくと同時に、適切な維持・保全を図る。

3. 自然について

3.1 概要

長岡の東山は、市街地の東方（標高 764.9m）を主峰とする北東から南西に至る連峰で、魚沼丘陵の北端に位置している。

見附市や小千谷市と境を接し、北側から桜峠、榎峠、森立峠、八方台（567.7m）、鋸山、花立峠、萱峠、猿倉岳（679m）、風口峠、三ツ峰山（521.1m）へ連なり、西側には風谷山（521m）、三ノ峠山（468.6m）、南蛮山（548m）、大峰山（566.4m）、金倉山（581.4m）が峰々を並べている。

「連峰西側（長岡市側）は北西に面して冬の季節風をまともに受け、深い積雪と少ない日照時間のため、ユキツバキ、マルバマンサク等日本海側特有の雪国植物が目立ち、一部には亜高山性の植物（オオバショリマ、ミヤマシシガシラ等）やブナの自然林も見られます。その一方、厚い積雪の保護作用による暖地性植物（ベニシダ、ツルマサキ等）も認められ、特徴的な植物相を示している。」

「動物では、貴重種は少ないながら、ニホンカモシカやオオタカといった高山や深い森林地域に生息する鳥獣も目撃されるなど、東山の自然の豊かさを物語っている。」

このように動植物に恵まれ、優れた自然景観を持つこの地域を永く保護するとともに利用の増進を図るため、東山連峰と周辺の山岳丘陵地帯は、自然公園法に基づく県立自然公園に指定されている。

「生命の営みや四季の変化を通して、私たちに深い感動と安らぎを与えてくれる自然があるので、新潟県内でも指折りの東山の自然環境を大切に保全し、豊かな心を育てながら、次世代に引き継いでいきたいものである。」

長岡の東山は、市街地の東方（標高 764.9m）を主峰とする北東から南西に至る連峰で、魚沼丘陵の北端に位置している。

見附市や小千谷市と境を接し、北側から桜峠、榎峠、森立峠、八方台（567.7m）、鋸山、花立峠、萱峠、猿倉岳（679m）、風口峠、三ツ峰山（521.1m）へ連なり、西側には風谷山（521m）、三ノ峠山（468.6m）、南蛮山（548m）、大峰山（566.4m）、金倉山（581.4m）が峰々を並べている。

「連峰西側（長岡市側）は北西に面して冬の季節風をまともに受け、深い積雪と少ない日照時間のため、ユキツバキ、マルバマンサク等日本海側特有の雪国植物が目立ち、一部には亜高山性の植物（オオバショリマ、ミヤマシシガシラ等）やブナの自然林も見られる。」「その一方、厚い積雪の保護作用による暖地性植物（ベニシダ、ツルマサキ等）も認められ、特徴的な植物相を示している。」

「動物では、貴重種は少ないながら、ニホンカモシカやオオタカといった高山や深い森林地域に生息する鳥獣も目撃されるなど、東山の自然の豊かさを物語っている。」

このように動植物に恵まれ、優れた自然景観を持つこの地域を永く保護するとともに利用の増進を図るため、東山連峰と周辺の山岳丘陵地帯は、自然公園法に基づく県立自然公園に指定されている。

「生命の営みや四季の変化を通して、私たちに深い感動と安らぎを与えてくれる自然。新潟県内でも指折りの東山の自然環境を大切に保全し、豊かな心を育てながら、次世代に引き継いでいきたいものである。」

3.2 雪国の植物

この章は、長岡市立科学博物館編集『ガイドブック東山—自然と歴史—』p.13 から引用している。「長岡の山を歩くと、根元が大きく曲がった木に出会うことがある。これは「根曲り」といい、毎年積もる雪の力によっておこる現象である。雪の力によって枝や幹が折れることさえある。樹木は冬を越すため、葉を落としたり冬芽をつくったりしていろいろな準備をする。草たちも、種子を残したり地面に葉をひろげてロゼットになったりして過ごす準備をする。」

植物にとって雪の影響はとても大きく、雪の降る地域では「雪国植物」という独特の植物がみられる。雪が多く積もる長岡の東山地域では、これら雪国植物をたくさん観察することができる。雪国植物は本州の日本海側を中心に分布するため、通常は「日本海要素植物」と呼ばれる。

4. 歴史について

4.1 藤ヶ森と中世以後の歴史

この章は、前掲書『ガイドブック東山—自然と歴史—』p.42 から引用している。「長岡市亀崎町字藤ヶ森は、文明 15 年（1483）の頃の記録では「藤五森」という表記だった。平成 8・10 年に長岡市教育委員会による発掘調査が行われた際、弥生時代中～後期の竪穴住居跡や掘立柱建物跡、方形周溝墓などが確認された。また、隣接する南側の小丘には墳丘墓 2 基があることも確認された。さらに、藤ヶ森遺跡の北東でも同様の発掘調査が行われ、同町五斗田遺跡で弥生時代後期～古墳時代前期の土器が発見された。現地に足を運ぶと、藤ヶ森遺跡や五斗田遺跡があったところや 2 基の墳丘墓、南方へ足を運べば弥生時代の終わりごろの高地性環濠集落、加津保町原山遺跡を遠望できる。また、墳丘墓の西側には江戸時代にも使われていた古道とお地藏様などの石仏も見る事ができる。さらに、西方には長岡城奪還に関わる、著名な「八丁沖」も遠望できる。このほか、五斗田遺跡では 15 世紀頃にこの地に住んでいた中世びとが使っていた珠州焼や青磁なども発見された。以上のことから、藤ヶ森という地域は「藤五森」という地名の記録が考古資料でも確かめられた貴重な地域である。このように、ここでは弥生・古墳時代はもちろん、中世以後の長い歴史を体感することができる。」

4.2 東山油田と近代の歴史

長岡市浦瀬町の東側、水穴団地からまっすぐ南に進んだ道の突当りには「東山油田開祖小坂松五郎碑」がある。小坂松五郎（1850～1902）とは明治 21 年に北越石油会社を設立し、長岡で初めて採油事業に成功した人物である。小坂は手掘井による採油を浦瀬町や成願寺町、栖吉町などを含む東山の北部地域の町で行って見事成功した。この場所のはのちに東山油田と呼ばれるようになる。明治 30 年頃には原油産出額のピークを迎えた。およそ大正時代の中ごろまで、近代長岡の産業発展に大きな役割を果たした。

4.3 榎峠、朝日山古戦場と北越戊辰戦争

「慶応 4 年（1868）1 月 3 日、薩摩藩の討伐を名目として大坂から京都に攻め上ろうとした旧幕府軍と、薩摩藩や長州藩を中心とする新政府軍が衝突した鳥羽伏見の戦いをきっかけとして戊辰戦争が始まった。同年 5 月 2 日、長岡軍事総督河井継之助と東山道軍岩村精一郎の慈眼寺（小千谷市）での会談が決裂すると、長岡藩と新政府軍との間で激しい戦争が始まった。慶応 4 年 5 月 10 日以後、長岡藩と新政府軍は榎峠や朝日山古戦場（現・小千谷市浦柄）で激しく戦った。国道 17 号線を南に進むと左側（東側）に「榎峠古戦場碑」がある。朝日山（標高 341m）の山頂部には、長岡藩とともに戦った東軍の兵士の墓標や砲台跡などが今でも残っている。北越戊辰戦争ではこの陣地をめぐる 5 月 10 日から、長岡城が最初に落城する 5 月 19 日まで 9 日間戦いが繰り広げられた。

古戦場には、また地元の浦柄史蹟保存会の人々が中心となり、戦闘の様子や銃弾などの貴重な資料を展示・解説した施設がある。この展示・解説施設からの眺望は実に素晴らしく、美しい東山の山並みで今から 140 年ほど前に激しい戦闘があったとは思えないほどである。5 月 19 日に長岡城が最初の落城をした後、7 月 24 日には有名な八丁沖の渡河作戦を長岡藩は遂行し、翌日には長岡城を奪い返した。しかし、この奪回作戦で軍事総督河井継之助が重傷を負うなど、大きな犠牲が出た。そして、5 月 29 日に新政府軍の激しい攻撃を受けて長岡城は 2 度目の落城、9 月 25

日に長岡藩主牧野忠訓が米沢（山形県）で降伏して北越戊辰戦争は終結した。長岡藩の戦いは、会津藩の戦いととも戊辰戦争の中でも最も激しい戦いの1つだった。

4.4 悠久山の歴史

4.4.1 蒼柴神社の宝物

この章は、長岡青年会議所悠久山調査特別委員会編集『悠久山－自然と文明の記録－』p.36から引用している。蒼柴神社は、牧野家としては祖廟でありその運営は長岡藩自体で行ってきた。したがって、牧野藩関係の由緒ある宝物が数知れず伝わっている。長岡は、江戸時代にも大火があり、戊辰戦争でさらに2度にわたって罹災し、また今次の大戦で戦災にあって多くの文化財を焼失した。しかし、蒼柴神社は市街地から遠く離れていたため一度も火災にあっていない。草創当時の日光東照宮を模したという社殿は現前と残り、社宝もまた古いものが今に伝わっている。郷土の歴史を語る貴重な文化財のなかで、特にすぐれたもの4件が市の文化財に指定されている。

①徳川秀忠朱印状1通（昭和39年3月26日指定）

「2代将軍徳川秀忠が、寛永2年（1625）10月23日付で初代長岡藩主牧野駿河守（忠成）にあてたもので、越後国古志郡・山東（三島）郡・蒲原郡など合わせて74,023石8斗余を領知すべきことを朱印でふれ達したものだ。長岡藩に発せられた最初の領知朱印状であるが、蒼柴神社にはこのほか寛永11年（1634）、寛文4年（1664）、貞享元年（1684）、元禄16年（1703）などの代々将軍家の朱印状が保存されている。」

②扶桑書集9冊（昭和39年3月26日指定）

「第9代藩主牧野忠精公は長岡藩主として初めて幕政に参加し、享和元年（1801）から文化13年（1816）までは老中という要職についた。この書集は、その老中在職中に諸藩侯や寺院などが将軍家へ新春御慶、その他祝儀状を取り次ぎしたものを集めたものと文化8年（1811）11月に原田豊栄が綴っている。記名のあるもの446名に及び、日本全国大半の藩侯の花押（かおう・墨筆で書いたサイン）があつてその意味でも大切である。」

③御山焼瓶子1対（昭和39年3月26日指定）

「第10代藩主牧野忠雅は天保14年（1843）、京都清水坂の陶工2代目清水六兵衛を招き、悠久山大沢谷に窯を築いて瀬戸物造りを始めた。これが藩侯の御庭焼きとして有名な「お山焼き」である。土質の関係であまり良い製品はできなかつたが、その後藩政の都合でこの窯を御山町の佐藤広英氏が引き継ぎ、明治初年ごろから主に素焼きの玩具や植木鉢などを焼いていた。高橋翠村氏の選んだ悠久山十勝の中に君山窯とあるのがそれである。しかし、この窯は昭和元年に廃業され、窯跡は佐藤氏の屋敷内にある。

蒼柴神社所蔵の瓶子1対は、清水六兵衛が長岡に来た翌年に六兵衛自身が焼いたものと推定される。高さがわずか13cmほどの小づくりの瓶子であるが、形もよく、糖白の白さがやわらかくでて深みをまし、お山焼きの銘品といわれている。」

④算額1面（昭和43年3月25日指定）

「江戸時代、数学の研究者が難しい問題を解いたとき、その喜びを神仏に感謝し、あわせて広く他人の問題を探し求めたり、自己の問題を提示する手段として神社や仏閣に奉額することが行われた。この算額は、この風習が最も盛んな時代の享和元年（1801）3月、関流太田正儀門人で長岡渡里町の村松屋長右衛門、表四之町の当銀屋万六、裏二之町の平石屋与次兵衛の3人が平面

幾何・立体幾何・平面幾何の極大極小などの3問題を解いて蒼柴神社に奉額したものである。これは県内で現存する9額のうち最も古いといわれている。」

「以上のほか、蒼柴神社には忠精・忠雅・忠恭・忠篤など牧野氏代々の書幅、画技にもすぐれた才能があった忠精の「二竜遊空」「璃竜蹴鞠」の図、牧野家が三河（愛知県）牛窪城時代に使用したと伝えられている兜や鎧、長岡藩行軍の図・雪中勢ぞろいの図・狩場の図・長岡城攻撃の図・悠久山の図などの絵画、小林病翁や山県有朋の書簡、その他まだまだたくさんの宝物が所蔵されている。こうした品々は単に社宝であるというだけでなく、長岡の歴史を物語る貴重な遺産である。」

4.4.2 石碑

「悠久山には、参道の脇や樹木雑草の中、丘の上など随所に記念の石碑が建てられてある。郷土長岡を生んだ偉人の碑は悠久山の集中した感があり、過ぎ去った激動する長岡の歴史を肌につれることができる。」

蒼柴神社の表参道を入り、千本桜の並木をくぐって新潟橋を渡ると、左手に「長岡開府三百年記念碑」がある。大正6年2月の建立で古志郡各町村の寄進、題字は子爵牧野忠篤氏の書である。その向かって右に、明治元年6月18日に戊辰の戦いに桂沢で陣没した「長屋定平の碑」がある。明治13年5月の建碑である。

蛇橋を渡った参道の左右が広場を形成しているが、右手奥に蒼柴神社の祭神忠辰公の事跡と遺徳、その祭祀のいわれをしるした屏風岩の「悠久山神詞碑」がある。忠精公の命により、寛政5年（1793）に藩士稲垣融が撰文して建てたもので、数ある悠久山の碑のなかでは最も古い。参道の左手両側に「戊辰刀隊戦没諸士」と「戊辰槍隊戦没諸士」の碑がある。建立は前者が明治2年7月5日、後者が同年8月15日であって、長岡落城後ちょうど一年を経ての建碑である。刀隊の碑には、隊長大川正則以下39名の諸士の姓名がしるされ、撰文および書は小林虎三郎、題額は小山元による。槍隊の碑は、姓名が裏側に彫ってある。

この両碑の間を一段のぼって奥に通じる道があり、それを辿っていくと右手に「山本帯刀の碑」がある。山本帯刀（1845～1868）は、義路とあったが長岡藩家老山本家を継ぎ、戊辰の戦いに若くして大隊長となって出陣した。河井継之助が倒れた後、代わって全軍を指揮したが西軍に捕えられ、降伏を拒み続けたためきられて、弱冠23歳で没した。この碑の篆額は逋信大臣海軍中将榎本武揚、撰文は明治21年7月大審院検事三島毅、書は当時能書家をもって知られた内閣書記官巖谷修である。もと長岡城本丸跡に河井継之助の碑とともに建ててあったのを、大正7年にこの地に移した。

この碑をもとに辿って、さらに数十メートル奥に行くと、左手に「渡辺廉吉の碑」がある。子爵徳川家達の篆額、子爵牧野忠篤の撰文で、昭和5年5月に建てられた。建立の協力援助は牧野子爵および東京・長岡の諸団体、旧姻戚200余名、書は梅園良正である。渡辺廉吉（1854～1925）は長岡藩士の子に生まれ、藩校崇徳館に学び、東京外国語学校助教師となり、ついでウィーン大学でシュタインについて公法・行政学を学び、憲法制定に参与、民事訴訟法の立案にあたった。その後、行政裁判所評定官・大審院長にも任ぜられ、また貴族院議員にもなった。わが国での憲法・行政法学の権威者として知られる。

再び参道に戻り、陶製の狛犬のある石段をのぼると、左手奥に忠辰公が生前師と仰いだ神道国学の教授橋主計三喜を祭る一樹神社があり、その右脇に「小林虎三郎の碑」がある。小林虎三郎

(1828～1877)は長岡藩士で、佐久間象山について学び、吉田松陰と並んで象山門下の二虎と称された。病翁と名乗り、戊辰の戦い後長岡大参事となり、病気の身で長岡藩復興のため勸業興学に尽くした。藩士の生活のためにと三根山藩から米百俵を送られたが教育の重要性を説き、多くの反対を押し切って学校設立の基金としたことはあまりにも有名である。悠久山の碑は昭和4年の建立で篆額は子爵牧野忠篤、撰文並びに書は高橋翠村である。(資料のエコマップも参照)

5. 文化について

5.1 蒼柴神社

この章は前掲書『悠久山—自然と文明の記録—』p.1から引用している。「長岡市民のいこいの場所である悠久山の一角を蒼柴の杜と呼び、その一角に蒼柴神社が鎮座している。この付近は市民から「お山」と敬われ、鎮守の森、市民の心のふるさととして親しまれている。」かつては長岡駅から栃尾電鉄が通っていた。

「蒼柴神社の御祭神は、牧野忠辰命(まきのただとよのみこと)と八意事代主命(やえことしろぬしのみこと:えびすさま)を祀っている。

むかしはこの山を三官山(さんがんやま)とよんでいたが、長岡城内からの御遷座と、蒼柴大明神の神号を賜った祝典にあたり、悠久山と改められた。」

「蒼柴神社(あおしじんじや)は新潟県長岡市の悠久山山内にある神社である。当初は祭神である越後長岡藩3代目藩主牧野忠辰の尊号の蒼柴大明神と呼称されたが、神仏分離令により現在の名称となる。創建当初は長岡城内にあったが、後に悠久山に移り、北越戦争で長岡城が落城すると一時期、栃尾に遷座するが終戦後に現在地に安置。旧社格は村社、後に県社となる。」

「享保7年(1722年)に既に隠居していた牧野忠辰が死去した。これを通達された京都の神祇道管領の吉田家より、故人忠辰に蒼柴霊神の神号が贈られる。このために養嗣子で当時の藩主牧野忠寿が長岡城東隅に社殿を造営して忠辰の霊璽を奉安したのが始まりである。

享保13年3月27日(1728年)の三蔵火事により、社殿が全焼したために千手町の八幡社に奉遷したが、同年11月12日に再建工事が成り、御遷座式が行われる。享保18年(1733年)には京都の吉田家により明神に昇格される。」

「明和3年(1766年)に牧野忠精が藩主となると、社殿の城内からの移転が計画され、当初遷座地を中島としたが、明和6年(1769年)には忠辰が治世中に杉の植林を行った戸左衛門新田の三官山に変更し、遷座地での入込殺生禁断の令を發布する。明和8年(1771年)には忠辰50周忌により大明神に昇格。天明元年(1781年)に三官山を開拓して社殿を造営し、7月29日に社地を三官山から悠久山と改名し、8月8日には遷宮式が行われて現在地に移転する。

越後長岡藩では藩職として悠久山御社御用掛を初めとする蒼柴大明神への奉仕・社殿及び境内の警備管理する役職が設置され、旧暦2月6日と旧暦8月17日の祭礼には藩主または藩主名代が参詣した。

北越戦争で長岡城が落城すると栃尾に奉遷されるが、明治2年(1869年)春には再び元に戻され、神仏分離令を受けて明治4年に蒼柴大明神から蒼柴神社に改名され、明治6年には村社となり「お山」の名で長岡における崇敬の対象となる。明治41年(1908年)から新潟県の幣銭料供進神社に指定され、昭和5年(1930年)に県社に昇格した。

長岡市民のいこいの場所である悠久山の一角を蒼柴の杜と呼び、その一角に蒼柴神社が鎮座している。この付近は市民から「お山」と敬われ、鎮守の森、市民の心のふるさととして親しまれている。かつては長岡駅から栃尾電鉄が通っており、電車に乗って訪れた体験を持つ人も多いことだろう。」

5.2 東山の遺跡と遺物

この章は、前掲書『ガイドブック東山―自然と歴史―』p.59から引用している。

「長岡市の東山丘陵に沿った地域には、山本・栖吉・山通・宮内・六日市の各地区があり、これまでの考古学的な調査によって多くの遺跡や遺物が発見されている。古くは縄文時代にさかのぼり、その後の弥生・古墳時代、さらには古代（奈良・平安時代）、中世（鎌倉・室町・戦国時代）に至るさまざまな時代の遺跡がみられる。その種類には集落跡のほか、古墳や窯跡、豪族の築いた城館跡などがある。」

「見附市と境界を接する亀崎町から乙吉町までの地域が山本地区にある。最も北側の亀崎町には籐ヶ森遺跡と五斗田遺跡があり、近年長岡市教育委員会が発掘調査を行った。籐ヶ森遺跡は丘陵が平野に突き出た先端部付近に位置している。弥生時代終末（約1,700年前）の集落跡で、竪穴住居跡・掘立柱建物跡、方形周溝墓、土器や石器類などが発見されている。さらに集落の南側には2つの墳丘墓が築かれていた。1基は東西約13m・南北約15mの楕円形状（図135①）、もう1基は東西約11mの方形形状である。これらは村の有力者の墓とみられ、豪族が地域をまとめるようになる古墳時代直前の状況をよくあらわれている。一方、五斗田遺跡は籐ヶ森遺跡のさらに西側の沖積地（水田）で発見された古墳時代の集落跡である。」

5.3 東山の石造物

「長岡市と栃尾市の境界を南北に連なる山々の尾根伝いに、森立峠から八方台、鋸山の登山口を経て、栃尾市半蔵金に至る道路が走っている。森立峠と八方台の間の道路沿いにある石造物や旧跡、そして鋸山には石造物がある。」

5.3.1 旧森立峠周辺

「長岡市成願寺町から車道を奥に進み、峠を越えて行くと栃尾市軽井沢の集落に至る。この二つの集落を結ぶ峠が森立峠である。この峠道はバス道路の開設に伴い、昭和35年に造られたものである。本来の森立峠はここから南へ500mほど行った所にある。

江戸時代の初めに、長岡と栃尾郷とを結ぶ最短距離の重要な道路として森立峠を通る旧道が開かれた。この旧道は殿様街道と呼ばれた。」

5.3.2 見送り地蔵

「旧森立峠は長岡市成願寺町と栃尾市軽井沢の境にある。この峠の東側、栃尾市軽井沢地内に見送り地蔵がある。見送り地蔵はこの峠道に向いて立っている。見送り地蔵は笠石の付いた方形角柱の石塔の正面に線刻されている。右手に錫杖、左手に宝珠を持った地蔵の立像である。地蔵の顔から袈裟の部分にかけて薄く朱が施されている。高さは2m50cmほどである。

峠を通る人が峠を振り返ったとき、この地蔵が見送ってくれているように思われるので、見送り地蔵と呼ばれている。見送り地蔵はまた、見返り地蔵とも言う。」

5.4 栖吉地区の遺跡と遺物

「栖吉地区は東片貝町から栖吉町までの範囲である。まず、北東の東片貝町には七ツ塚古墳群

(標高約 60～70m) があり、半径 10m～15m、高さ約 1～1.5m の七つの古墳から構成されている。そのうちの 1 基には、先の麻生田古墳 1 号墳と同様の造りが出し認められ、古墳でも比較的早い時期に位置づけられる。」

「栖吉町周辺では、いくつかの遺跡が長岡市教育委員会によって発掘されている。中道遺跡は、縄文時代中期から晩期（約 5,000～3,000 年前）にかけての大規模な集落で、栖吉川に沿った扇状地上に位置している。約 70 軒の居住跡や多数の貯蔵穴が発見され、膨大な量の土器や石器類が出土している。火災のあった住居もあり、そのうちの 1 軒からは、当時の食糧であるトチノミが大量に発見された。それらの遺物からは豊かな自然環境の下、狩りや漁、木の実の採集を盛んに行っていた」と思われる。その他、栖吉川流域の三貫梨遺跡^{さんかんなし}では、室町時代の館跡（寺院跡？）と土葬を主とする墓地が、松葉遺跡では、無色町時代の村跡や火葬場が見つかっている。「また、先の中道遺跡でも、室町時代の村跡が発見されており、栖吉川に沿って村が点々と営まれていたようだ。さらに、下道遺跡からは 1 万枚を超える埋蔵金が発見された。14 世紀後半の南北朝時代のころ、栖吉にいた有力者が密かに蓄えた金を埋めたのだろう。」

これらの遺跡の主な出土品は、科学博物館の展示で見ることができる。また、中道遺跡で発見された縄文時代のトチノミと炉跡（石組炉）については、実物を切り取って保存したものを悠久山の郷土資料館で展示してある。

栖吉町の背後の「城山」には、栖吉城跡（標高 328m）がある。中世に長岡（古志郡）一帯を治めていた古志長尾氏によって築かれた規模壮大な山城で、新潟県の史跡に指定されている。その縄張りは 550×350m に及び、東山沿いでは最大規模を誇っている。多数の郭、堀、土塁などを周辺に配置し、縦方向に連続した特徴的な遺構「畝型阻障（^{うねがたそしろう} 堅堀）」も見られる。栖吉城跡に至るには、^{ふきいじ} 普濟寺（曹洞宗）から登るルートと、栖吉神社から登るルートがある。^{のこぎりやま} 鋸山に続くハイキングコースにもなっていて、容易に登ることができる。

6. むすび

本年度のゼミ活動は、最初の計画通りに進めることができた。東山地区の活性化に向けた取り組みでは、長岡市政策企画課が主催する東山つうしん会議で、ファミリーランド、あぐらって長岡（農作業体験）、赤城コマランド（冒険遊び、植樹会）、森のようちえん・ふたばっこ（屋外保育、四季の行事）など各団体の皆様に出会うことができ、有意義な活動であった。

今後も各団体の行事に参加したいものである。以下の資料が今年の活動内容である。



写真① 栖吉川周辺の清掃活動（NPO 法人新潟環境塾）



写真② 清掃活動



写真③ 植樹会 (赤城コマランド)



写真④ 農作業体験 (あぐらって長岡)

資料 ① 第5回全国エコツーリズム学生シンポジウム

10:00～11:00 学生によるポスターセッション 2013年 11月30日 東大会場

ゼミ生の池田隆祥(3年)、長橋賢和(3年)、須田一聖(2年)の3名が「長岡市東山地区の自然、歴史、文化をエコウォークで楽しもう」のテーマでポスターを掲示して、他大学の学生からの質問に答えた。他大学もユニークな題目で発表していた。中央大学経済学部3年生は「商店街の発展と観光—観光と地域活性化」、富山県立大学大学院生のゼミは「五箇山合掌造りが「結」ぶ地域と観光—域学連繋による持続可能な観光地域形成モデルの構築」など丁寧な説明をしていた。

11:00～12:20 基調講演「ぼくの職場は富士山です～富士山のエコツーリズム」

近藤 光一氏(富士山登山学校ごうりき代表)

近藤氏はプロのガイドとして富士山の登山を案内している。いろいろなお客さんとの出会いのこと、富士山の素晴らしい景色のことや近藤氏の家族との登山によって家族の絆が深まったことなどをユーモアいっぱいにお話をしてくださった。世界遺産である富士山への熱い思いを語ってくださった。有意義な講演であった。

13:20～16:20 学生による研究発表

地域、観光、環境について9大学の学生による発表があった。

地域については、高崎経済大学地域政策学部の阿久澤直人君、笠原圭太君は「学生と地域の連携による効果と課題—群馬県片品村での活動を通して—」について発表を行った。

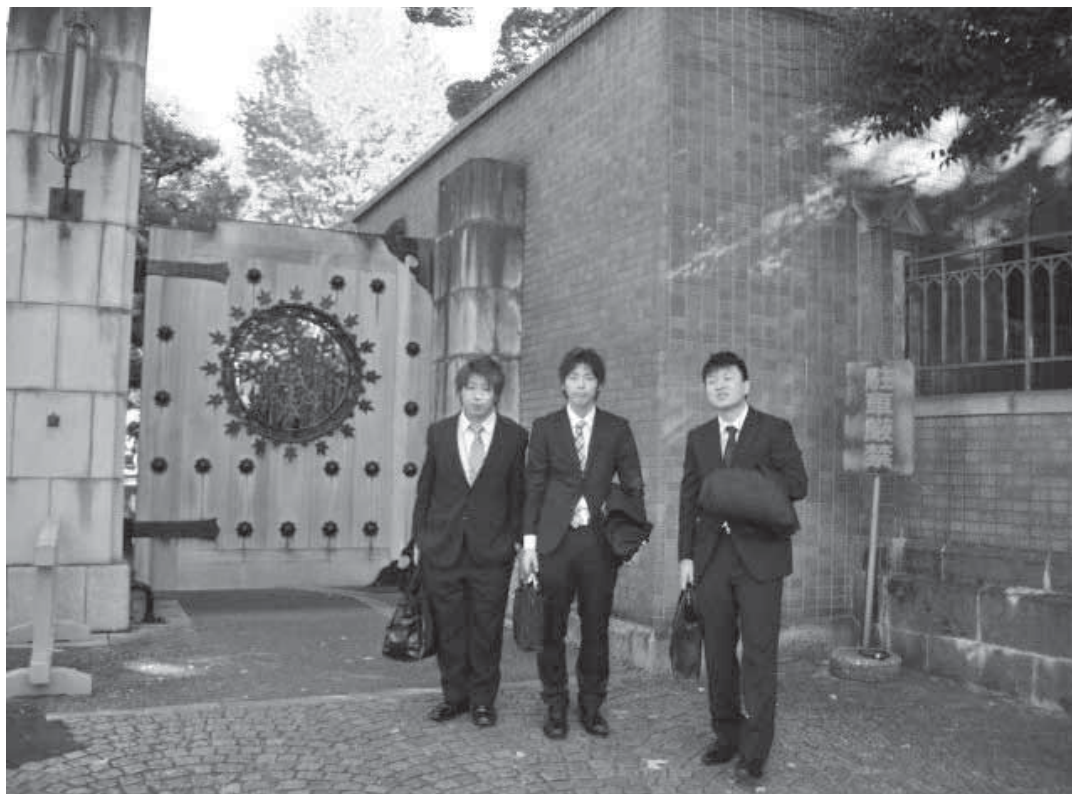
片品村出身の阿久澤君が中心となり、地元主催のスノーキャンドルイベント「迎え火の宴」や小学生との「かたしなキャンプ」や他大学5校の約70名が合同で行うグリーンツーリズムを実施するためのツアー企画や運営を行った発表であった。学生が地域と関わっていく見事な事例報告であった。

「地域」での報告は、他に和歌山大学観光学部の仁科樹君と西中満月さんの「落語で学ぶエコツーリズム～街歩きと落語がつくるエコツアーの可能性～」のユニークなテーマでの発表があった。大阪市のNPO法人関西演芸推進協議会が催行している。落語の題目にゆかりのあるスポットを実際に巡った後に、落語を聞く。高座での噺をなにわの街並みを散策することでより鮮明にイメージし、楽しむエコツアーの内容で大変興味深い発表であった。「地域」では、亜細亜大学の角田麻美さん、井川雅代さんの「長崎・小値賀町—離島における観光振興政策を考える」の発表もあった。離島には、観光資源があり、アンケートの分析から、小値賀の暮らしと観光に対する提案を行っており、立派な発表であった。

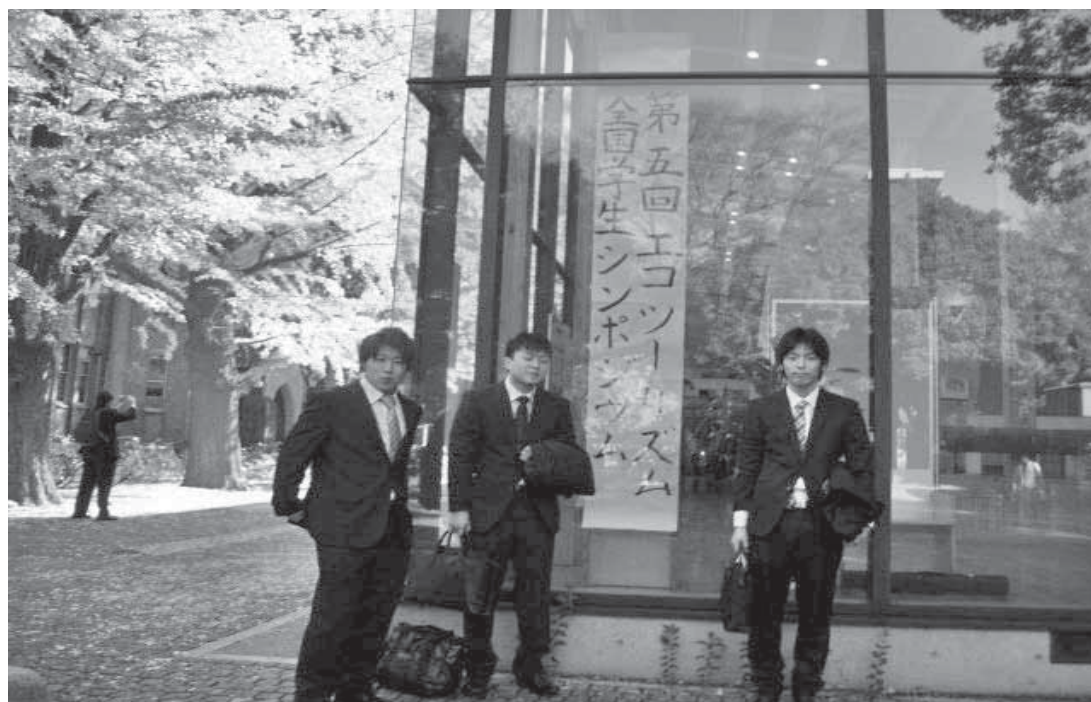
「観光」についての発表も3件あった。題目をあげると、「古都京都観光を支える着物の継承を担う未来派着物活動の仕組みづくりの事例研究」について京都嵯峨芸術大学の野尻千明さんが、ユニークな着物姿で発表をして「着物の未来」の有り方を提言して、興味深い内容であった。他に「エコツーリズムを通じた風評被害の克服—福島県北塩原村を事例として」や「地ビールの地域ブランド化及び地域活性化に関する考察」などがあった。

「環境」についても3件の発表があった。「芸術の眼で見る環境問題—三保松原の景観と海岸浸食—について」、「ちむぐくる—私たちが育てる沖縄島」と「スウェーデンの緑地環境と野外活動について」などであった。

各発表者の発表態度は、堂々としており、発表内容も新しい発見のある有意義なものであった。発表態度や内容について勉強になった一日であった。



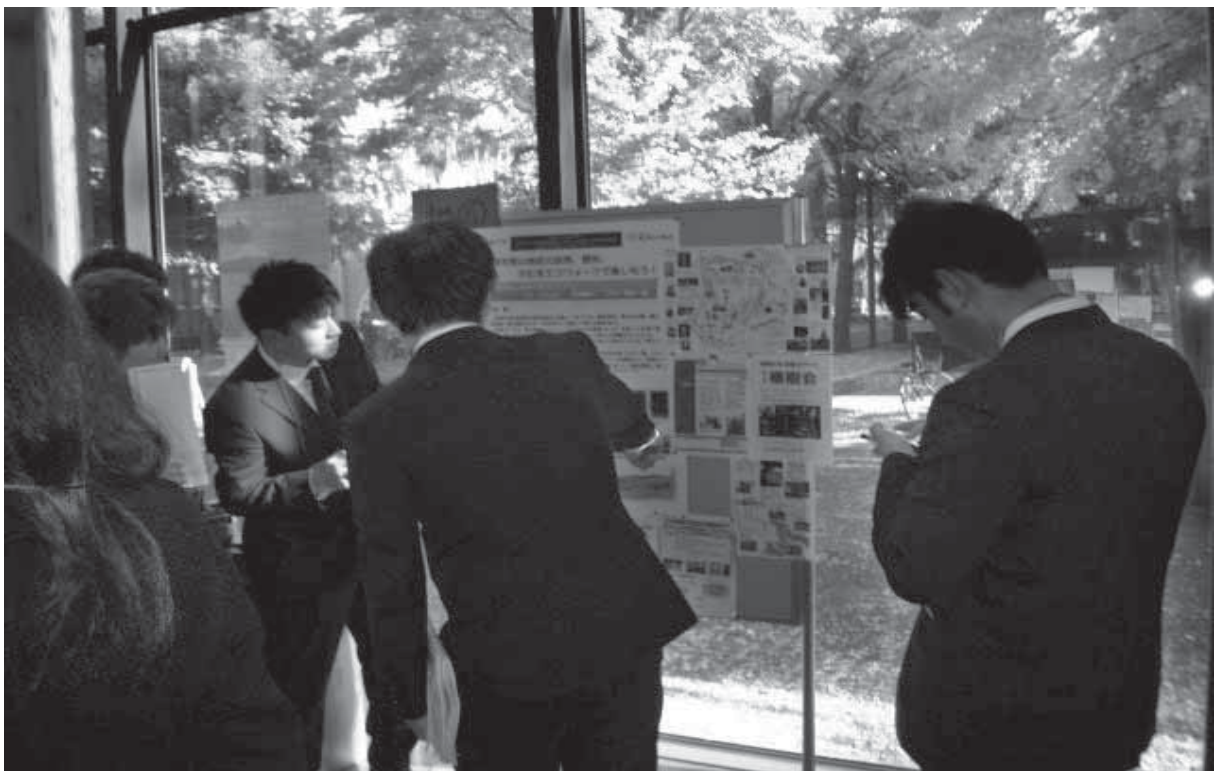
東大会場 ①



東大会場 ②



ポスターセッション ③



ポスターセッション ④

資料② エコウォーク



蒼柴神社 ①



悠久山公園 ②



東山ファミリーランド地区 ③



東山ファミリーランド地区 ④

資料③ アンケートの内容

アンケート調査にご協力ください。(長岡大学 吉盛一郎ゼミナールⅡ・Ⅲ・Ⅳ)
東山についてお尋ねします。よろしくお願ひします。

- 1-1 あなたの住所・性別・年齢についてお答へください。
長岡市内 (町) 男 ・女 年齢 () 歳
長岡市外 ()
- 1-2 今日は、だれと来ましたか。何人ですか。
1人 友達 (人) 家族 (人) その他 () (人)
- 1-3 東山へ来たことがありますか。(1つ)
初めて 2~3回 何回もある
- 2-1 (何回もある方)
東山でよくいく場所はどこですか。下記の中から選んでください。(3つ)
市営スキー場 (テニスコート、サマーボブスレー、サマースキー)
市営牧場 赤城コマランド
東山ファミリーランド (ポニー広場、トリム遊具、動物ふれあい広場)
自然観察林 (瞑想の池、山小屋) ふれあい農業公園 (展望台、放牧場)
あぐらって長岡 (ふるさと体験農業センター)
キャンプ場 ハイキングコース (登山)
その他 ()
- 2-2 選んだ理由は何ですか。(2つ)
癒せる場所だから。 家族が楽しめるから。 思い出の場所だから。
デートに好い場所。 運動に好いから。 景色が好いから。 散策に好いから。
その他 ()
3. 東山への交通手段は何ですか。
車 自転車 徒歩 バス
4. 東山にさらに有ってほしい施設はありますか。
()
5. 施設について好いところと、改善してほしいところはありませんか。
好きな施設名 ()
好いところ ()
改善してほしい施設名 ()
改善してほしいところ ()

この内容を分析しまして、長岡大学の地域活性化プログラムの発表会(12月)の資料に使わせていただきます。本日はアンケート調査にご協力いただきまして有難うございました。

資料④ 東山ファミリーランド地区のアンケート調査と分析からの提案

平成 25 年 7 月 6 日、10 月 5 日、31 日、11 月 26 日に行った、アンケートの結果である。

回答者は 85 名（回答率 100%）

1-1 回答者の住所

長岡市内	64 名 (75.3%)
長岡市外	18 名 (21.1%)
無回答	3 名 (3.5%)

長岡市内からの来訪者が多かったが、県外からも数名の来訪者があった。

1-2 回答者の年齢

19 歳以下	6 名 (7.1%)
20～30 歳代	39 名 (45.9%)
40～50 歳代	23 名 (27.1%)
60 歳代	16 名 (18.8%)
無回答	1 名 (1.2%)

20～30 歳代の回答者が、39 名 (45.9%) で多く、次に 40～50 歳代が 23 名 (27.1%) の順になっている。19 歳以下の来訪者が少なく、若者に向けたイベントも考案した方がいいかもしれない。

1-3 東山ファミリーランド地区へ来たことがありますか。

何回も	57 名 (67.1%)
2～3 回	18 名 (21.2%)
初めて	9 名 (10.6%)
無回答	1 名 (1.2%)

何回も来訪した人が、57 名 (67.1%) と多く、次に 2～3 回 (21.2%) と合わせると約 90% の人がよく訪れている。

2-1 よくいく場所はどこですか。(126 回答)

ファミリーランド	32 名 (25.4%)	スキー場	16 名 (12.7%)
ふれあい農業公園	19 名 (15.0%)	キャンプ場	12 名 (9.5%)
ハイキング	12 名 (9.5%)	コマランド	10 名 (7.9%)
牧場	7 名 (5.6%)	あぐらって長岡	4 名 (3.2%)
自然観察林	3 名 (2.4%)	その他	14 名 (11.1%)
無回答	6 名 (4.8%)		

ファミリーランドが 32 名 (25.4%)、ふれあい農業公園 19 名 (15.0%)、スキー場 16 名 (12.7%) の順になっている。家族連れや友人といったグループでいく場所として何度も訪れているようである。

2-2 選んだ理由は何ですか。(112 回答)

景色が良い	22 名 (19.6%)	家族が楽しめる	20 名 (17.9%)
運動に良い	20 名 (17.9%)	癒せる場所	17 名 (15.2%)
散策に良い	13 名 (11.6%)	その他	14 名 (12.5%)
無回答	6 名 (5.4%)		

「景色が良い」が 22 名 (19.6%)、「家族が楽しめる」が 20 名 (17.9%)、「運動に良い」が 20 名 (17.9%) の順になった。来訪者が選んだ理由のとおり、自然環境が素晴らしい場所であることは確かである。

3 交通手段は何ですか。(85 回答)

車	76 名 (89.4%)	徒歩	5 名 (5.9%)	自転車	2 名 (2.4%)
無回答	1 名 (1.2%)				

車が 76 名 (89.4%) と多く、徒歩 5 名 (5.9%)、自転車 2 名 (2.4%) の順になっている。

エコウォークコースを提案したい。資料にあるエコ・健康マップを広く市民に進めることができれば、徒歩での来訪者が増えるのではないかと考える。

4. 東山地区にさらにあってほしい施設はありますか。

アスレチック フットサル 避暑施設 (屋根付き休憩場) 売店・軽食店・自販機
滑り台 トイレ 温泉 バス停 サイクリングロード バーベキュー

実際にこの地区を散策してみて、ふれあい農業公園には避暑施設 (屋根付き休憩場) とトイレ施設 (改善) と自販機は早急に設けてほしいと思う。夏場の来訪者にとっては、ほしい施設である。

5. 改善してほしいところはありますか。

トイレ、 駐車場 道路が狭い
ふれあい農業公園での施設 (改善) である。

アンケートに寄せられた意見

- ① 全般的に自然環境がよいが、PR 不足、もっと人が来ないといけない。
- ② トレッキングに好いコースが何コースもあるので、ハイキングが楽しい。
- ③ ファミリーランドが好きな施設である。子供がうさぎに触れられるので。
- ④ 牛を放牧しているところや、夜空の星がきれいなところが好きである。
- ⑤ 東山の名称は良く聞けるが、イベント、施設のことなど、余り聞かない。
- ⑥ 季節によっていろんな花が見られる場所がほしい。
- ⑦ このままでよい。

アンケート結果からの提案

多くの長岡市民が、東山地区に来て、ファミリーランド、ふれあい農業公園やスキー場を利

用している。景色が良く、家族が楽しめて、運動にもよく、そして癒せる場所のようである。

ただ、夏場の暑い日には、屋根付きの休憩場、自販機や売店が有ってほしい。農業公園のトイレ施設を改善してほしい。また、東山地区の情報発信が足りないのではないかとの意見もある。

また、東山ファミリーランド地区のエコウォークの散策コース名として、「コスモスの道」や、「悠久の道」、「天空の道」、悠久山の散策コース名として「長岡偉人の道」を挙げてみたいと思う。散策コースに名称があれば楽しく散策できると考えるからである。最後に 85 名分の集計表を掲載して本年度の活動を終わりとす。

ご協力をいただいた皆様には感謝します。有難うございました。

東山地区のアンケート報告

性別	年齢	何人で	何回	良く行くところ	理由	手段	ほしい施設	改善施設
男	27歳	12人	2~3	テニスコート	運動	車	フットサル	駐車場
男	30歳	11人	2~3	ポニー広場		車	バスケット	
男	63歳	1人	何回も	ふれあい公園	運動	徒歩	なし	なし
男	27歳	12人	2~3	キャンプ場	景色	車	フットサル	
男	32歳	12人	2~3	キャンプ場	近いから	車		
女	27歳	12人	何回も	アスレチック	癒せる	車		
男	27歳	12人	何回も	ポニー、キャンプ	癒せる	車	アスレチック	
男	28歳	2人	何回も	BMX コース	運動、景色	車	ダートジャンプ	土
男	57歳	1人	何回も	牧場	景色	車	なし	
男	44歳	2人	初めて		景色	車	飲食店	
男	38歳	12人	何回も	動物ふれあい広場	家族、散策	車		
女	27歳	12人	初めて		癒せる	車	アスレチック	
男	54歳	8人	何回も	テニスコート	運動	車		
男	43歳	4人	何回も	牧場、ファミリーランド	散策、	車		
男	35歳	4人	何回も	ポニー広場	楽しめる	車		
女	42歳	4人	何回も	テニス、ボブスレー	運動	車	コートを増やす	
男	49歳	8人	何回も	サマースキー	いつも利用	車		
男	75歳	2人	何回も	コマランド、ポニー	家族、運動	車	子供が遊べる	場所
女	40歳	4人	何回も	スキー場、ファミリー	家族、運動	車		
女	32歳	3人	何回も	赤城コマランド	家族	車	老人ホーム	
男	60歳	1人	何回も	ハイキングコース	運動	車		バイク違反
女	27歳	12人	初めて		広場がある	車	座る場所	
女	30歳	8人	2~3	ポニー広場	癒せる	車	売店	
女	30歳	8人	初めて		散策、	車	避暑施設	
男	38歳	4人	2~3	赤城コマランド	家族楽し	車		
男	76歳	1人	何回も	コマランド、ファミリー	家族、運動	車		
男	48歳	5人	何回も	サマースキー	運動	車		
男	45歳	1人	何回も	ハイキングコース	癒せる景色	徒歩	冬にウォーキング	グできる
女	20歳	2人	何回も	スキー場、動物広場	癒せる景色	車	温泉	
女	30歳	2人	初めて		散策	車		
男	36歳	1人	何回も	サマースキー	運動	車		

女	59歳	25人	何回も	赤城コマランド	家族	車		トイレ
女	43歳	4人	何回も	東山ファミリーランド	癒せる、景色	車		
男	64歳	1人	何回も	ハイキングコース	運動	車		
女	33歳	3人	何回も	スキー場、ファミリーランド	家族、景色	車		
女	26歳	2人	初めて		仕事の下見	車	バーベキュー	
女	35歳	4人	2~3	キャンプ場	散策、	車		
女	66歳	3人	2~3	ファミリランド、ふれあい	家族	車	滑り台	トイレ
女	72歳	4人	何回も	ふれあい農業公園		車	売店、飲食店	トイレ
男	59歳	4人	初めて	ふれあい農業公園	コスモス	車	自販機	トイレ
男	40歳	2人	何回も	ファミリーランド(トリム)	家族	車	屋根付き休憩所	
男		4人	何回も	ファミリーランド、ふれあい	家族	車		
女	40歳	1人	2~3	ファミリーランド、動物	家族	車	屋根付き休憩所	温泉
男	48歳	1人	何回も	サマースキー、ふれあい、ハイキング	運動	徒歩		
男	46歳	1人	何回も	サマースキー	運動、景色	車	温泉	
男	30歳	8人	何回も	サマースキー、牧場、キャンプ	運動、景色	自転車	屋根付きベンチ	
男	58歳	1人	2~3	ふれあい農業公園、キャンプ場	家族、景色	車	このままでよい	
男	69歳	1人	2~3	ふれあい農業公園	景色	車	トイレ	
男	59歳	2人	何回も	スキー場、キャンプ場	家族	車		
女	39歳	5人	何回も	サマーボブスレー、ファミリーランド、	家族	車		
女	34歳	2人	何回も	赤城コマランド、ふれあい農業公園	散策、	車	歩道の整備	
男	35歳	3人	何回も	キャンプ場、牧場	癒せる	車	アスレチック	
女	20歳	30人	何回も	市営スキー場	イベントで	車		
女	18歳	1人	何回も	ファミリーランド、	部活、イベント	車	レストラン	
男	19歳	1人	2~3		仕事で	車		
男	21歳	1人	何回も	スキー場、コマランド、ファミリー	癒せる、景色	徒歩	アスレチック	
女	18歳	1人	何回も		景色	車		
男	19歳	1人	2~3	スキー場、キャンプ場	デート	徒歩	温泉	
女	19歳	1人	2~3					
女	20歳	2人	何回も	スキー場、ファミリー、キャンプ	癒せる、デート	車	旅館	
男	20歳	6人	2~3	スキー場、牧場、ファミリー	家族、景色	車		
男	32歳	1人	2~3	サマースキー	思い出	車	バーベキュー	
男	20歳	90人	何回も	スキー場、ポニー、キャンプ	学校のイベント	バス		

女	20歳		2~3	ファミリーランド、	イベントで	車	バス停	
男	19歳		初めて			バス	食堂	
男	20歳	1人		スキー場、ファミリー、ふれあい農業公園	癒せる、景色	車	スノーボードコース	
女	32歳	1人	何回も	コマランド、ファミリー、あぐらって	農業体験	車	老人ホーム	
女	31歳	1人	何回も	ファミリー、キャンプ	散策	車	キャンプ場	パベキュウ
男	75歳	1人	何回も	コマランド、ふれあい	家族、散策	車		
男	69歳	1人	何回も	自然観察林、あぐらって、ハイキング	癒せる、景色	車		
女	32歳	1人	何回も	スキー場、ファミリー、ふれあい	運動、散策	車	日帰り入浴施設	イベント情報
男	54歳	1人	初めて					
男	58歳	1人	2~3	スキー場、ファミリー、ハイキング	家族、散策	車	サイクリングロード	
男	21歳	1人	何回も	牧場、ふれあい、ハイキング	癒せる、景色	車		
男	66歳	1人	何回も	ファミリー、ふれあい、ハイキング	癒せる、運動	車		
男	28歳	1人	何回も	スキー場、牧場、ファミリー	散策、	車		
男	54歳	1人	何回も	牧場、ファミリー、	家族	車		
男	70歳	1人	何回も	ハイキングコース	運動、景色	自転車		
女	63歳	1人	何回も	自然観察林、ふれあい、ハイキング	景色、散策	車	軽食の店、喫茶店	
女	39歳	1人	何回も	ふれあい農業公園	デート、景色	車	レストラン	道が狭い
男	68歳	1人	何回も	ふれあい、あぐらって	癒せる、景色、散策	車		
男	41歳	1人	何回も	スキー場、コマランド、ファミリー	癒せる、家族	車		
男	66歳	1人	何回も	自然観察林、ふれあい、ハイキング	景色、散策	車		
男	78歳	1人	何回も	ふれあい、あぐらって、ハイキング	家族、運動	車	PR不足	
女	48歳		何回も	ファミリーランド		車	東山油田博物館 トイレ	トイレ

参考文献

1. 長岡市立科学博物館 編 「ガイドブック東山―自然と歴史―」平成15年3月
2. 長岡市立阪之上小学校 編 「わたしたちの悠久山」昭和58年10月
3. 長岡市教育委員会 「郷土長岡を語る『ながおか学』」平成24年3月
4. 長岡青年会議所悠久山調査特別委員会編 「悠久山―自然と文明の記録―」昭和46年12月
5. 長岡市観光企画課・公園緑地課 編 「悠久山マップ」
6. 「郷土長岡を創った人びと」平成21年3月

発表者用エントリーシート

発表タイトル	長岡市東山地域の自然、歴史、文化をエコウォークで楽しもう	
希望テーマ	・環境保全 <input type="radio"/> 地域振興 ・観光振興 (いずれかに○してください)	
希望発表形態	・研究発表 ・ポスターセッション <input type="radio"/> どちらでも良い (いずれかに○してください) ※協議の結果、研究発表かポスターセッションのいずれかに変更して頂く場合があります。	
発表者氏名	<input type="radio"/> 池田隆祥 (代表 3年) <input type="radio"/> 長橋賢和 (3年) 須田一聖 (2年)	
発表者所属	(大学・専門学校名、学部学科・研究室名、大学院研究科名、学年) 長岡大学経済経営学部人間経営学科 吉盛一郎ゼミナール NPO 法人新潟環境塾	
発表者連絡先 (発表を行う代表者の連絡先を記入してください)	住 所	〒 940-0828 長岡市御山町 8 0 - 8
	電話番号	080-1083-1352 (池田) (平日の昼間に連絡が取れるところ)
	FAX 番号	0258-33-8792 (長岡大学事務室)
	E-mail	yoshi-mori@nagakauniv.ac.jp (吉盛研究室)
発表要旨 (文字数は 400 字程度で、内容がわかるように書いてください)	長岡市では、平成 7 年 7 月からエコシティのモデル都市に指定され、翌年 8 月に「長岡市都市環境計画」を策定し、総合的な都市づくりを目指している。基本理念に「豊かな水と緑をみんなで育み大切にするまち」とある。政策企画課は、東山地区の活性化に向けて各団体と年 4 回「東山つうしん」を発行し、定期的に会議を開いている。参加団体は、株式会社丸富 (スキー場、ファミリーランド運営)、あぐらって長岡 (農作業体験、そばづくり体験など)、赤城コマランド (冒険遊びの森、植樹会)、森のようちえん・ふたばっこ (屋外保育、四季の行事)、長岡大学 (悠久祭) である。市民は各団体の催しに参加している。さらに大学近くには、蒼柴神社、悠久山公園、長岡市郷土史料館、栖吉城址や江戸・明治時代に活躍した偉人の碑があるが、ゼミでは、東山地区のエコマップ (おすすめ散策コース) を作って市民に提示し、東山地区の自然、歴史、文化をエコウォークで楽しむ活動を行っている。	
特記事項		

- 1 共同研究者がいる場合は、「発表者氏名欄」に、発表者氏名と共同研究者氏名を記入し、発表者氏名の頭に○印を付けてください。研究発表の場合、当日登壇 (発表) できる人数は 2 名までです。
- 2 締切：2013年9月30日 (月) までに E メール、FAX、郵送で NPO 法人日本エコツーリズム協会事務局あてにお申込みください。
- 3 ポスターセッションの場所やポスターのサイズなどは、追って事務局よりご連絡いたします。

長岡市東山地区の自然、歴史、 文化をエコウォークで楽しもう！

長岡大学 吉盛一郎ゼミナール
3年 池田隆祥 長橋賢和 2年 須田一聖

<活 動>

長岡大学は長岡市の東山地区に位置し、近くには、蒼柴神社、悠久山公園、郷土史料館、栖吉城址や江戸・明治時代に活躍した偉人の碑がある。

吉盛ゼミでは、東山地区のエコマップ(おすすめ散策コース)を作って市民に提示し、東山地区の自然、歴史、文化をエコウォークで楽しむ活動を行っている。

また、長岡市(政策企画課)が東山地区の活性化に向けて発行している「東山つうしん」の編集にも関わっている。

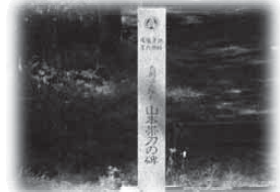
「東山つうしん」の発行には、当ゼミのほかに、株式会社丸富(スキー場、ファミリーランド運営)、あぐらって長岡(農作業体験、そばづくり体験など)、赤城コマランド(冒険遊びの森、植樹会)、森のようちえん・ふたばっこ(屋外保育、四季の行事)が参加している。各団体とも、多くの市民に親しまれている。



東山地区をエコウォーク



蒼柴神社入り口



山本帯刀の碑



農作業体験(あぐらって長岡)



森の喫茶店



旧長岡藩主牧野家霊廟



長岡市郷土史料館



植樹会(赤城コマランド)



東山地区にある長岡大学

東山つうしん

発行：長岡市市長政策室政策企画課 TEL0258-39-2204

URL：http://www.city.nagaoka.niigata.jp/kankou/higashiyama/

イベントカレンダー

10月0日(土曜日)

森のおみせやさん

場所：森のようちえん

時間：10:00~14:00

内容：様々な手作り体験と手
作り品の販売。

問：TEL080-5651-1049 古川

10月26・27日(土・日)

長岡大学悠久祭

場所：長岡大学

時間：10:00~17:00

内容：アーティストライブ、す
ごろく大会、模擬店、学生企画イ
ベント、ゼミナル活動展示

11月3日(日曜日)

第26回 植樹会

場所：赤城コマランド

時間：1000~1500雨天決行

内容：クヌギ300本を記念植
樹。木の持参も可。申込不要。
小学生以上参加費100円。

持ち物：お弁当、飲み物、お
腕、はし、スコップ、長靴、軍
手、着替え、ばんそうこう

問：TEL090-3215-8256 山川

11月17日(土曜日)

秋まつり収穫祭と 森の冬じたく会

場所：森のようちえん

時間：10:00~14:00

内容：自然からの恵みに感謝
し、冬に向けて準備をします。

問：TEL080-5651-1049 古川



たの しみ いっぱい 実りの 秋！ 本物の 体験 を しよう！

◆赤城コマランド◆

第26回 植樹会

(午前中植樹、午後から遊び)

★ハンドクラフト展同時開催

★森のコンサート路上ライブ

★本格的石窯でピザ焼き体験

★大バウムクーヘン焼き体験

★マシュマロ焼き

★薫炭焼き(さつまいも持参)

★マタギ鍋・かき氷

★木工工作・緑陰図書

★きのこ狩り・栗ひろい

持ち物は、左のイベントカレン

ダーを見てね。

東山には、たくさんの施設があ
り、その近くには長岡大学がありま
す。

今、その学生さんが、東山の
自然を楽しむマップを作っていま

す。そしてマップ作りを通して、
東山の活性化につながる活動をし
ています。

今回は、その長岡大学の学園祭
「悠久祭」も紹介します。楽し

いお店や出し物もいっぱい！もちろ
ん小学生も歓迎だよ！左のイベン
トカレンダーを見てね。

自然いっぱい、楽しみもいっぱい
の東山に遊びに行こう！



わたあめ屋など、たくさんのお店が
できるよ！



自分で植えた木が育っていくよ！

コラム ～長岡大学 悠久祭実行委員会より

長岡大学悠久祭は、今年で12回目になる学園祭です。今年のテーマは、ONEACTION～幸せは歩いてこない だから 悠久祭に行くんだよ2013～です。みんなで悠久祭を盛り上げましょう！

10月26日(土)、27日(日)長岡大学にて、ご来場おまちしております。

◆**森のようちえん**
ふたばっこ◆

今年の森のおみせやさんは、
様々な手作り体験が楽しめます。

午後からは、秋の森の中、手
作りのお菓子等でのんびりおや
つの時間を楽しめます。



楽しそうな小物や
手作りのお菓子がいっぱい！



250万本のコスモスが見られる！

◆**あぐらって長岡**◆

ちまきづくり、そばづくり、ソ
ーセイジづくりが体験できま
す。旬の野菜のもぎ取りもでき
ます。(予約が必要です。
有料)

野菜の直売もしています。
問い合わせ：Tel.34-5360

◆**長岡市営スキー場**◆

ロッジ2階には生乳を使った
手づくりのおいしいジェラートア
イスあるよ。迫力満点のサマー
ボブスレーも10月27日で終
了。終了する前に急げ！
(土日・祝日に営業)



とってもおいしいよ！



スリル満点！気分爽快！

ひがしやま
東山マップ



あぐらって長岡



しえい じょう
市営スキー場



あかぎ
赤城コマランド
もり
森のようちえん
ふたばっこ



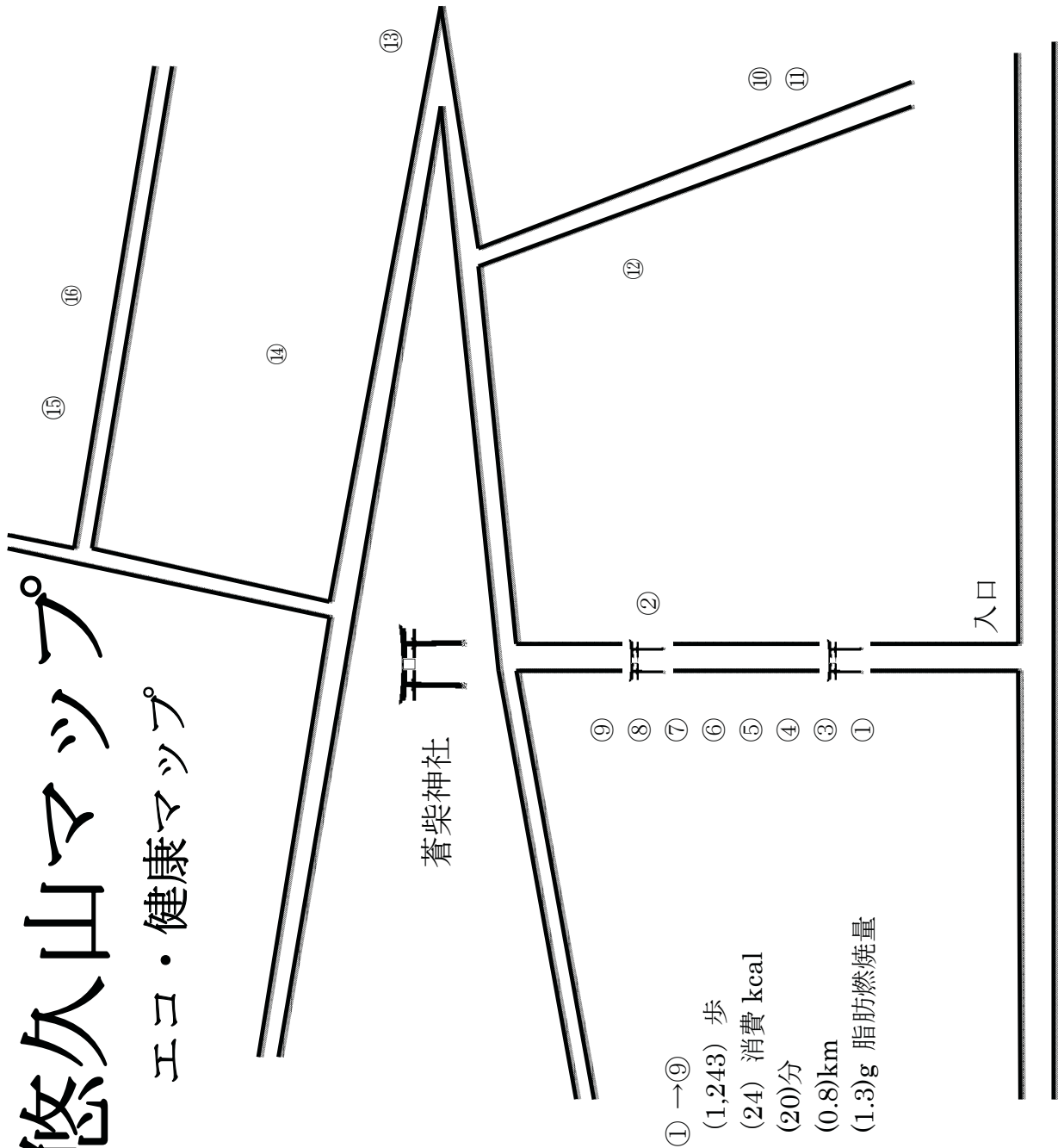
ひがしやま
東山ファミリーランド



悠久山マップ

エコ・健康マップ

- 長岡開府参百年記念碑
- ① 長岡開府参百年記念碑
 - ② 井上井月句碑
 - ③ 長屋定平の碑
 - ④ 刀隊・槍隊の碑
 - ⑤ 悠久山神祠碑
 - ⑥ 渡辺廉吉の碑
 - ⑦ 山本帯刀の碑
 - ⑧ 福島甲子三の碑
 - ⑨ 小林虎三郎の碑
 - ⑩ 松岡讓文学碑
 - ⑪ 堀口大學添文碑
 - ⑫ 河井繼之助の碑
 - ⑬ 令終会の碑
 - ⑭ 三島億二郎の碑
 - ⑮ 小沢空軒の碑
 - ⑯ 三宅正一胸像



① → ⑨
 (1,243) 歩
 (24) 消費 kcal
 (20)分
 (0.8)km
 (1.3)g 脂肪燃焼量

⑩ → ⑯
 (2,662) 歩
 (75) 消費 kcal
 (30) 分
 (1.2) km
 (4.4) g 脂肪燃焼量

- ① 「長岡開府参百年記念碑」(悠久山マップの解説を参照)
大正 6 (1917) 年に、古志郡(現在の長岡市南部や旧栃尾市など)の各市町村が寄進。
- ② 「井上井月句碑」
信州伊那谷を漂泊し、乞食宗匠として慕われた俳人。
- ③ 「長屋定平の碑」
美濃大垣藩士。長岡藩の軍援兵として官軍と戦った。
- ④ 「長岡藩刀隊・槍隊の碑」
戊辰戦争で刀隊・槍隊として戦い戦死した人たちの碑。刀隊の碑には長岡藩大参事・小林虎三郎が平和の大切さを訴えた撰文を寄せている。
- ⑤ 「悠久山神詞碑」
長岡藩第九代藩主・牧野忠精が天明元年蒼柴神社を建立し、この地を悠久山と名付けた。
- ⑥ 「渡辺廉吉の碑」
苦学の末に海外留学を果たし、法律と政治学を学び、帰国後に明治憲法の制定にかかわるなどした法制学者。郷土長岡の人材育成にも尽力した。
- ⑦ 「山本帯刀の碑」
戊辰戦争では大隊長として出陣。西軍の降伏勧告を拒否し、会津飯寺で死す。
- ⑧ 「福島甲子三の碑」
令終会の幹事として、悠久山公園の整備や公園道路の新設に尽力した。
- ⑨ 「小林虎三郎の碑」
長岡藩文武総督大参事。戊辰戦争後の長岡の復興に尽力し、とりわけ教育の重要性を唱え、支藩・三根山藩から贈られた百俵の米を国漢学校の設立資金にあてた。
- ⑩ 「松岡讓文学碑」
彼の代表作『法城を護る人々』の文学碑。旧制長岡中学では堀口大学と同級生。
- ⑪ 「堀口大学添文碑」
級友・松岡讓の死を悼む詩碑。彼の訳詩集「月下の一群」は、日本の近代詩に多大な影響を与えた。
- ⑫ 「河井継之助の碑」
長岡藩軍事総督として北越戊辰戦争を指揮。慶応 4 (1868) 年、会津塩沢で没。
- ⑬ 「令終会の碑」
令終会のメンバーらによって碑が建てられた。
- ⑭ 「三島億二郎の碑」
戊辰戦争後の長岡の町を復興させた恩人。
- ⑮ 「小沢空軒の碑」
教育に一生をささげた人。大正 11 (1922) 年、私立長岡高等実業女学校の校長となる。
- ⑯ 「三宅正一胸像」
元長岡市議会議員。衆議院議員となり、衆議院副議長を務めた。

東山ファミリーランド地区

